令和６年度東京都立中央ろう学校　高等部シラバス

学　　部	高等部	学　　年	5	単位数	4
教科	英語	グループ名	S1 S2 S3G1		
科目等名	英語コミュニケーションⅡ				
ねらい	英語コミュニケーションⅠの基礎の上に、総合的な英語力の向上をはかる。				
担当教員	佐々木　桃子、漆畑好美				
年間授業時数	140 時間				
使用教科書	三省堂　MY WAY　English CommunicationⅡ				
副教材等	三省堂　MY WAY　English CommunicationⅡ Workbook				

学　習　計　画

	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容、ねらい（評価の観点）	指導の工夫配慮事項
前期	4	Lesson 1 Dances Around the World	１２	世界のさまざまなダンスとその起源や役割について学ぶ。 SVO(O=that/what 節) / SVO(O=if/whether 節) / SVO1O2(O2=if/that/what 節)	ICT 機器を活用し、生徒が主体的に学習に取り組めるようにする。個々の理解度や興味・関心の度合いにあった教材を作成し、より実践的な力を図る。
	5	Lesson 2 Katsura Sunshine－Making the World Laugh	１２	桂三輝さんの英語落語への取り組み方や工夫について学ぶ。 形式主語の it / 形式目的語の it	
	6	Lesson 3 Living with Nature－Takita Asuka's Journey	１４	滝田明日香さんが行う野生動物の保護活動について学ぶ。 現在完了形 / 現在完了進行形/過去完了形/過去完了進行形	
	7	Lesson 4 Sesame Street	１１	セサミストリートに込められたメッセージについて学ぶ。 SVOC(V=知覚動詞/使役動詞) / help＋O＋動詞の原形	
	9	Reading1 Lesson 5 From Landmines to Herbs	１４	アンコールワットの修復について学ぶ。 関係代名詞（主格）/ 前置詞＋関係代名詞 / 関係代名詞の非制限用法 / 関係副詞の非制限用法	
後期	10	Lesson 6 Murals－The Power of Public Art	１４	世界中の壁画プロジェクトとそれぞれの特徴について学ぶ。 助動詞(過去形) / 助動詞＋have＋過去分詞 / 完了不定詞	ICT 機器を活用し、生徒が主体的に学習に取り組めるようにする。個々の理解度や興味・関心の度合いにあった教材を作成し、より実践的な力を図る。
	11	Lesson 7 "Englishes" in the World	１６	世界のさまざまな英語とそれぞれの違いについて学ぶ。 分詞構文 / 受け身・完了形の分詞構文 / 付帯状況 with	
	12	Lesson 8 Deepika Kurup — The Science Behind Clean Water	１２	世界の水問題とその解決のためのディーピカ・クルップさんの取り組みについて学ぶ。 助動詞 / 助動詞＋have＋過去分詞 / would を使った表現 /	
	1	Lesson 9 The World's Poorest President	１２	ホセ・ムヒカさんの幸せに対する考え方について学ぶ。 仮定法過去 / 仮定法過去完了 / if を使わない仮定法 / no matter + 疑問詞	
	2	Lesson 10 Living in an E-Society—The Pros and Cons	１３	e スポーツや電子書籍の長所と短所について学ぶ。 同格の that 節 / 強調構文 / 倒置 / 省略	
	3	Reading2 １年のまとめ	１０	内戦下シリアの秘密図書館についての物語について、理解して考えを深め、話し合うことができる。	

３　評価の観点及び評価方法

評価は、次の３つの観点から行う。

知識・技能	英語の語彙、表現、文法などについて理解を深めている。それらの知識を、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	英文を読み、情報や考えを整理し、その概要、要点、書き手の意図などを的確に理解したり、適切に表現したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	英語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

このため、具体的な評価の対象は次のものとする。（評価方法や評価のポイント）
関心・意欲・態度、思考・判断・表現、技能、知識・理解の４観点から評価基準に従い、総合的に評価する。
単元ごとに評価し、総合的に年間の評価を決定する。

令和６年度東京都立中央ろう学校　高等部シラバス

学　　部	高等部	学　　年	５年	単位数	４
教科	数学	グループ名	Ｓ１・Ｓ２・Ｓ３Ｇ１		
科目等名	数学Ⅱ				
ねらい	・数学Ⅰで行った整式の演算に対する理解を深める。 ・様々な関数について理解し、グラフがかけるようにする。 ・微分法、積分法について、関数値の増減や積分と面積の関係を理解する。 ・習得した知識、技能の活用を通して数学的見方や考え方ができるようになる。				
担当教員	渡部　遥				
年間授業時数	１４０				
使用教科書	数Ⅱ704「新編数学Ⅱ」実教出版				
副教材等	「アクセスノート数学Ⅱ」実教出版				

学　習　計　画

	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容、ねらい（評価の観点）	指導の工夫配慮事項
前期	4	式の計算	１２	整式の乗法、二項定理、整式の除法、分数式 3次式の計算や二項定理を利用し高次式の展開を理解する。 整式の除法、分数式の計算方法を身に付ける。	主要な用語や公式については、練習問題を実施することで理解度を確認しながら進める。 視聴覚教材を活用し、学習内容を理解しやすくする。 単元ごとに確認テストと解説を実施し、知識の確認と定着をはかる。
	5	複素数と方程式	１３	複素数、２次方程式、因数定理、高次方程式 実数から複素数の範囲まで拡張された数について理解する。 剰余の定理、因数定理を使用した高次方程式の解き方を身に付ける。	
	6	式と証明 図形と方程式	１４	等式と不等式の証明、点と直線の方程式 恒等式の意味や性質を理解し、等式、不等式の証明方法を身に付ける。２点間の距離、内分点と外分点の座標、直線の方程式について理解する。	
	7	図形と方程式	１１	円、軌跡と領域 円の方程式、円と直線の位置関係を理解する。軌跡の方程式の求め方や、不等式、連立不等式の表す領域を図示できるようにする。	
	9	三角関数	１４	弧度法と一般角、三角関数の性質・グラフ 一般角、弧度法での角度の表現方法を理解する。三角関数のグラフやその周期性を理解する。	
後期	10	三角関数	１４	加法定理 加法定理を導き、適用できるようにする。２倍角の公式、半角の公式、三角関数の合成を理解する。	
	11	指数・対数	１４	指数関数 指数法則において、指数を正の整数から実数まで拡張した場合の計算方法を理解する。指数関数のグラフやその性質を理解する。	
	12	指数・対数	１２	対数関数 指数関数から対数の性質を導き、対数法則を理解する。 対数関数のグラフやその性質を理解する。	
	1	微分法	１２	平均変化率と微分係数　導関数、接線の方程式 平均変化率、微分係数、導関数の意味を理解し、求められるようにする。接線の傾きや接線の方程式を求められるようにする。関数の増加・減少、極大・極小を調べ、３次までの関数のグラフを描けるようにする。	
	2	積分法	１３	不定積分、定積分　面積 積分の意味を理解し、不定積分を求められるようにする。定積分を求められるようにする。定積分を応用した、面積の求め方を理解する。	
	3	復習とまとめ	１１	数学Ⅱの総復習、演習	

３　評価の観点及び評価方法

評価は、次の３つの観点から行う。

知識・技能	・事象等を数学的に捉え、文字で表現し、方程式を解くなどの方法を身に付け、計算するだけでなく図やグラフをかく等の工夫ができる。 ・関数や指数対数、微積分の基本的な意味や原理・法則、用語・記号などを理解し、数学的な知識を身に付けている。
思考・判断・表現	・問題の解き方、表現の仕方に工夫がみられるか。 ・事象を数学的に捉え、数式やグラフで表現できているか。
主体的に学習に取り組む態度	・学習活動への主体的に参加しているか。 ・数学的な見方や処理に関心をもって取り組めているか。

このため、具体的な評価の対象は次のものとする。（評価方法や評価のポイント）
（１）定期試験の実施（２）授業中に出す課題への取り組み方（３）長期休業中の課題や課題テストの実施

令和６年度東京都立中央ろう学校　高等部シラバス

学　　部	高等部	学　　年	5	単位数	2
教科	国語	グループ名	S1　S2　S3G1 グループ		
科目等名	論理国語				
ねらい	社会において情報を整理し、他者の主張や論点に対する理解を深める。 対話を通して視野を広げ、構成の分析や思考力の向上、学力の定着を図る。				
担当教員	吉野美保				
年間授業時数	７０時間				
使用教科書	三省堂　「新　論理国語」				
副教材等	三省堂　「新　論理国語」学習課題ノート				

学　習　計　画

	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容、ねらい（評価の観点）	指導の工夫配慮事項
前期	4	「自分を捉え直す」	6	・漢字の読み書き　語句の意味と用法 ・抽象と具体の関係を正確に読み取る。 ・書き手の意図を捉え、「分人」の意味を理解する。	・ICT を活用し、適切に視覚的情報を提示する。 ・ワークや作成プリントを使い、机間指導する。
	5	「一人で爆笑」	6	・漢字の読み書き　語句の意味と用法 ・主張を支える根拠を捉える。 ・書き手の意図を捉え、正しい日本語に対する理解を深める。	
	6	「世界のあり方」	7	・漢字の読み書き　語句の意味と用法 ・本文にあける具体例の役割を読み取る ・文章や資料の妥当性や信頼性を吟味する。 ・筆者が伝えたい意図を理解する。	
	7	「『展示』が伝えるもの」	7	・漢字の読み書き　語句の意味と用法 ・「展示」における当時の記録（実物資料）の大切さを知る。 ・リニューアルされた展示が伝えるものは何かを読み取る。	
	9	「誰かの靴を履いてみること」	6	・漢字の読み書き　語句の意味と用法 ・学校生活に身近な教育や権利について読み取る。 ・エンパシーとシンパシーの違いについて理解を深める。	
後期	10	「なぜ私たちは労働するのか」	6	・漢字の読み書き　語句の意味と用法 ・書き手が論拠や出典を用いた意図を理解する。 ・労働することに対する意識を深める。	・ICT を活用し、適切に視覚的情報を提示する。 ・ワークや作成プリントを使い、机間指導する。
	11	「プラスチックごみについて考える」	6	・漢字の読み書き　語句の意味と用法 ・環境問題や地球温暖化による影響は何かをまとめる。 ・情報を収集し、自分の考えを提示する。	
	12	「日本マンガのブルーオーシャン戦略」	6	・漢字の読み書き　語句の意味と用法 ・戦後の日本の出版社がどのように戦略したのか考える。 ・グラフや表から読み取れることを提示する。	
	1	「学びとは何か」	7	・漢字の読み書き　語句の意味と用法 ・「ケプラー」と「ブラーエ」の違いを通して、筆者が伝えたいことを読み取る。 ・状況に合わせて問題解決できるという筆者の考えを汲み取る。	
	2	「他者を理解する」	7	・漢字の読み書き　語句の意味と用法 ・感情表現や意見の一致等について、理解を深める。 ・アイデンティティについて背景を知る。 ・筆者が伝えたい意図を理解する。	
	3	「すべり台社会と“溜め”」	6	・漢字の読み書き　語句の意味と用法 ・進路を見据えて、筆者の意図を汲み取り、自分の意見を提示する。 ・「すべり台社会」「溜め」等の文中の語句について読み取り、具体的に説明する。	

３　評価の観点及び評価方法

評価は、次の３つの観点から行う。

知識・技能	語句の意味や用法を正しく理解し、文中で適切に使いこなすことができる。
思考・判断・表現	文章を正しく読み、自己や他者との対話を通して理解を深める。また、思考した事柄を適切に表す力を身に付ける。
主体的に学習に取り組む態度	文章を読み、自ら問いを立て探求しようとしている。

このため、具体的な評価の対象は次のものとする。（評価方法や評価のポイント）

（１）定期考査　　（２）課題や提出物　　（３）授業中の態度